



第 1676 回例会

平成 23 年 10 月 17 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 60 名 出席者数 42 名
出席率 70.00% 前回修正出席率 86.67%

4. 会長スピーチ

4日前、RI からメッセージが届きました。10月 24 日の「世界ポリオデー」を迎えるこの機会に、オンラインで 100 ドル以上をポリオプラスに寄付された方の認証額を 2 倍とするキャンペーンを実施することです。期間は 10 月 24 日～28 日で、参加希望の方は私に一報ください。地区からのメッセージはありませんが、聞くところによりますと、ガバナー・ノミニーは決まっているのにエレクトが未だ決まっていないとのこと、困ったことです。

今日は、少し夢のある話をします。やはり今世界の最重要課題であるエネルギー資源についてです。アドバルーンや天体観測用気球等に使われているヘリウムガスですが、このヘリウムと同位体である“ヘリウム 3”という物質が近年注目を集めています。実は世界のエネルギー政策を大きく変貌させるほどの可能性がある物質として数多くの研究対象にされ、徐々にその可能性が明らかになってきています。

このヘリウム 3 は、水素の一種である重水素と核融合を起こすと、ヘリウム 4 と陽子になります。そのときに飛び出す陽子が膨大なエネルギーを発生するのです。どれ程のエネルギーかと言いますと、25 トンのヘリウム 3 で、アメリカとヨーロッパを合わせた一年分の消費電力をまかなえるとの試算がなされている程です。また、「万年単位で放射線が出続ける」、「たやすく原爆に転用できる」などの問題点がある原子力発電とは違い、放射能の心配はありません。温室ガス

会長 田村 健治 君



を排出する恐れもないことから、クリーンな発電方法としても注目を集めています。

しかし、問題はこのヘリウム 3 が地球上にほとんど存在しないということです。ヘリウム自体が、既に枯渇が心配されている資源である上、ヘリウム 3 となりますとヘリウム中に 0.0001% 程度しか存在しません。このように地球上にはごく僅かしか存在しないヘリウム 3 ですが、月には豊富に存在することが分かっています。月に対する研究は近年進んでおり、月にはヘリウムが推定 100 万トンも埋蔵されていると報告されています。月の砂に吸着されているヘリウム 3 を全て使えば、現在世界で使用されている電力の数千年分のエネルギーが得られるとの試算も出ているほどです。実際に実用化となりますと、コストの面や、月に存在するヘリウムをどのようにして地球に持ち帰るのかなど問題は多く、実用化のめどは未だ立っておりません。しかし新たなエネルギー資源の発見に世界中の関心は集まっており、中国は 2017 年に、米国は 2030 年までにそれぞれ有人月探査を行い、月面のサンプル採取も計画していると発表しております。近年、北極圏の地下資源を巡って各国で争いが発生しましたが、北極圏と同様に月の資源の所有権を明確にすることは困難で、この資源を巡って問題が発生することは容易に考えられそうです。新たな資源活用に期待が寄せられる反面、はるか遠く離れた月でまで資源争いが繰り広げられるのか懸念されるところです。

5. 幹事報告

幹事 山畠 弥生 君

○マイクアップ

堺フラワーRC 花田宗弘君 10月 14 日

○例会臨時報告変更のお知らせ

海南RC

10月 19 日 (水) → 10月 19 日 (水) 12:30~
職場例会 春日神社 (大野中)

有田南RC

10月 25 日 (火) → 10月 22 日 (土) 8:30 出発
京都 (親睦家族例会)

有田 2000RC

11月 2 日 (水) → 移動スポーツ例会
(於: トータンクドボウル)

11月 9 日 (水) → 11月 12 日 (土)
龍神村 紙すき体験

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田村 健治 幹事: 山畠 弥生 SAA: 岩井 克次

6. 委員会報告

- 米山記念奨学会委員会 委員長 那須 正志君
米山奨学会金特別寄付をよろしくお願ひします。
- 社会奉仕委員会 委員長 魚谷 幸司君
東北大震災の支援について、よろしくお願ひします。

7. IDM報告

- 1組 発表者：金川 龍一君

①会員増強について

不景気、人口減少の影響で、新入会員者の推薦はなかった

②出席率向上のための例会について

夜間例会は、今まで通り、月一回で良い。食事に無駄が出ないよう考えて下さい

③退会者防止について

退会の理由を分析することが大事である。

新入会者のフォローアップや、ケアをちゃんとする。

RCに参加することの目的を教えてほしい。



- 2組 発表者：大谷 徹君

①会員の増強について

入会の時は、会員の必須条件、基本的なことを必ず話をする。

②出席率高上のための例会について

月曜日の夜間例会のみにし、夜は7時よりスタートすることで出席率が向上するかも他の俱乐部で出席率の良い俱乐部へメーキャップを参考にする。

③その他（退会防止について）

例会の中身をよくする（月に1回でも、先生を呼んで）勉強会をしては？



- 3組 発表者：三木 正博君

①会員増強について

これといった名案がなかったが、会員各自努めて、良い面も悪い面も説明して、アピールして努力するしかないよう思う。

世間一般に何事においても、調子の悪い時期なので、何か名案がないか模索中。また、一度めぼしい人に、一回当会の例会に来て会員の人柄・雰囲気等知ってもらって、1ヶ月位体験入会して頂いてはどうかなど気づきました。

②出席率向上のための例会について

食事につきましては、最近少し変わってきていますが、しばらくこのままでよいと思います。

開始時間、回数は今まで良いと思います。

また、ミニバイキング等、取り入れたらどうかと思います。

③他のについて

前々から思っていたのですが、新入会員になる時は、当会場で、皆様の前で紹介してもらって知ってもらっていますが、これはこれで良いと思います。

ただ、当会を何らかの理由でおやめになる方につきましては、入会時と同じように、皆様の前でその方



のお話して頂いて、会員皆様に知つてもらっていないと、いつおやめになったか知らない人がおいでになる様に思います。

今まで、長く伴に楽しみ苦労してきた仲間ですから、何かそれなりの事があつても良いのではないかと寂しく思いました。

- 4組 発表者：岩井 克次君

①会員増強について

2640 地区の状態を踏まえながら、J C経験者・医師・女性経営者などを積極的に勧誘する。



②出席率向上のための例会について

食事の改善について、最近食事がおいしくなった、という意見があった。各業者の得意な料理を。

夜間例会の回数・開始時間、回数は現状のままが良いという意見が多数。

開始時間は仕事の関係で 19:00 にしてほしいという意見があった。

開会前の飲酒について、少し緩やかな規制にしてほしいという意見があった。開始後始まってからすべきという意見があった。

③退会防止について

欠席が度重なる会員に、知り合いの会員が出席を促す。各会員が自分に存在感がある会の仕事をして戴く。

- 5組 発表者：那須 正志君

①会員の増強について

会員増強については、今の時代には難しい課題となっている。（金に余裕のある人が少なくなってきた）



会費のネック、毎週の例会、今の時代に合わせた入会の勧め方を考えなくては、ロータリーのポリシーを持って今まで通りに行くのか時代に合わせてロータリーが変わるのが。（会長に是非、質問してくださいとゆうことです。）なんのために毎回会員増強がテーマとなるのか、声を懸けたい人は皆それぞれ他クラブからも声が懸かっています。それでも、まずは一声懸けるところからはじめよう。ロータリーという声を懸けるだけで、固まつてしまつてなかなか前に進む事ができなく難しいというのが実態です。

②出席率向上のための例会について

入会してもらえることが出来たらまず自分が例会あるいは他の会へ出席する、自分が出席しないと人に声を懸けにくい。（メーキャップも進んで行くようにしよう）10人10色と言われますが人の心が良く分かる。人をまとめていく勉強が出来る。出席とともにいろんな役を持たしてもらう事が必要。休みが続いてしまうとどうしても出席しにくくなってくる、ですから出来るかぎり出席するようにしよう。ま、その逆の意見で出欠にこだわらず、まず入会してもらうようにしよう。ロータリーの友を作ろう。そうして互いに誘い合い出席率の向上に繋げて行

こう。夜例会をもっと多くしては。先輩の意見として今は昔に比べてずいぶんやさしくなっている。（食事については決められた範囲の中で工夫して頂いておいしく頂いています。）例会は食事会ではない。食事にたいして文句を言うのはおかしい。いずれにしても、来る人は来る、来ない人は来ない。これを言ってしまうと終わってしまいますが、まあでも前向いて増強、退会防止に努めていきましょう。非常に中身の濃い、また議論の出来たミーティングでありました。

○6組 発表者：辻 亮君

最後の発表で、ほとんどの内容が他の組と同じです。

焼肉を食べながら、楽しく意見交換をいました。どのテーマも全て楽しい例会をすることに尽きます。



7. 閉会点鐘

次回例会

第 1677 回例会 23 年 10 月 24 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

地区委員長会議報告

米山委員長・財団委員長・青少年交換委員長



ニコニコ・BOX

朝井 修君 県展の写真の部で入選しました。
宇恵 弘純君 ロータリー イーストゴルフのコンペで優勝しました。
岩井 克次君 娘一家が今日、里帰りしてきました。
那須 正志君 IDM 報告します。



国際ロータリー ニュース

ロータリーがマーシーシップスと提携

ロータリー財団は、ロータリアンによる西アフリカでの保健活動を支援するため、世界的慈善団体であるマーシーシップスと、新たに提携を結びました。この提携を通じて、財団は、クラブと地区が医療専門家から成る職業研修チームを派遣するためのパッケージ・グラント（グローバル補助金の一種）を提供します。この職業研修チームは、手術などの治療活動だけでなく、現地の保健従事者のスキル向上の支援も行います。プロジェクトはまず、マーシーシップスが所有する 16,500 トンの船、「アフリカ・マーシー」が活動を展開している西アフリカ（現在の寄港地はシエラ

レオネのフリータウン）から始まります。

ロータリー財団のウィリアム・ボイド管理委員長は、「この提携によって、医療支援



が行き届いていない地域の人々を支援する世界的なリーダーとの協力を通じて、クラブ会員は自らの専門知識を活用することができる」と話します。1978年に創設されたマーシーシップスは、発展途上国で医療を無料で提供するだけでなく、それらの国々における持続可能な開発を支援する団体です。これまで 70 カ国以上で活動を展開し、290 万の人々を支援してきました。毎年 1,200 名の手術医、歯科医、看護師、保健研修者、教師、料理人、船員、エンジニア、農業専門家などがボランティアとして参加し、スキルを生かしています。

マーシーシップスの創設者で会長のドン・スティーブンス氏は、「ロータリー財団の疾病予防と治療分野におけるパートナーとして活動できることを嬉しく思います。ロータリーが人類に対して行っている奉仕活動は非常に重要です。両団体が協力することで、西アフリカでの医療支援活動がさらに充実するでしょう」と話しました。

ロータリアンはこれまで、マーシーシップスとの活動をいくつかの国で行っています。ジャクソンビル・ロータリークラブ（米国フロリダ州）とテマ・ロータリークラブ（ガーナ）は、2007 年、ガーナでの医療支援のため、「アフリカ・マーシー」に医療物資を提供しました。ジャクソンビル・クラブはまた、モンロビア・ロータリークラブ（リベリア）とも協力し、2008 年から 2011 年にかけ、1,200 人への眼科手術や顔面手術を支援しました。この活動を紹介したビデオをご覧ください。また、グレート・ブリテンおよびアイルランドの国際ロータリーは、マーシーシップスを 2005-06 年度の最も寄付したい団体に選びました。ロータリー財団のグローバル補助金は、財団の重点分野において、大きな成果と持続可能性が望める大規模な国際プロジェクトを支援するものです。財団とマーシーシップスによって提供されるグローバル補助金のパッケージ・グラントは、重点分野の中の「疾病予防と治療」を直接支援するもので、この補助金を通じクラブや地区は、受益者の特定、技術支援や直接奉仕の提供、プロジェクトの広報などをより効果的に行うことができます。シンプルな補助金プロセスを目指し、2010 年 7 月 1 日に開始された財団の未来の夢試験段階には、現在 100 地区が参加しています。2013 年 7 月 1 日から、すべての地区がこの新しい補助金モデルに移行する予定となっています。財団はまた、アガ・カーン大学 や オイコクレジット・インターナショナル とも提携を結んでいます。

クラブでフェイスブックを始めるために

フェイスブックのニュース（良いニュースも悪いニュースも）が飛び交う今日この頃。「うちのクラブもフェイスブックを始めるべきか」とお考えの方も多いのではないでしょうか。

そんな質問に「ぜひ始めるべき」と答えるのは、「ソーシャルネットワークのロータリアン親睦グループ」のメンバー、メル・パウエルさんです。パウエルさんは現在、カリフォルニア州を拠点とする E クラブの結成にも携わっています。地域の大勢の人とつながるというフェイスブックの利点や、フェイスブックを始めるにあたってのアドバイスについて、パウエルさんに伺いました。

問：「Facebook ページ」と「個人アカウント」の違いは何ですか。ロータリー・クラブ、ローターアクト・クラブ、インターラクト・クラブは、どちらを作るべきですか。

答：「Facebook ページ」を作ることをお勧めします。個人アカウントでは「友だち」の数に制限がありますが、Facebook ページなら無制限の人が「いいね（Like）」をクリックできますから、さらに大勢の人とつながり、クラブの公共イメージ向上や入会者探しに大いに役立つでしょう。さらに、個人アカウントの場合、友達となった人なら誰でも掲載した情報を見ることができますため、ロータリー・クラブの友達となることを躊躇するユーザーも出てくる可能性があります。Facebook ページなら、個人アカウントと同じように相手に情報を見られることがないため、「いいね」をクリックしてくれる人も多くなります。



問：ロータリー・クラブが個人アカウントを開き、「友達」を作ったら、問題が生じるでしょうか。

答：フェイスブック上の「個人」は実在する人でなければなりません。つまり、ロータリー・クラブが「個人」としてフェイスブックにアカウントを作ることは、フェイスブックの規約に違反することになります。従って、このアカウントはフェイスブックから一方的に閉鎖されてしまう可能性があり、そうなると、せっかく掲載したコメントや写真もすべて失われてしまい、一からやり直さなければならぬことになります。

問：代わりに、フェイスブックのグループを作ることはできますか。

答：プライベートな会話をフェイスブック上で楽しむ場合には、追加された人だけが参加できるグループを作ることもできます。ですから、誰でも見ることのできるクラブの Facebook ページを開く一方で、クラブ会員だけが参加できるグループを作るのも一案です。

世界ポリオデーに向けて

10月 24日の世界ポリオデーを前に、世界中のロータリアンがポリオ撲滅活動の認識向上と募金活動に努めています。

各地のロータリアンは、10月 24日の世界ポリオデーを機に、ポリオ撲滅活動を完遂することの重要性を訴えています。（写真提供：パキスタン・ポリオ・プラス委員会）



各地のロータリアンは、10月 24日の世界ポリオデーを機に、ポリオ撲滅活動を完遂することの重要性を訴えています。（写真提供：パキスタン・ポリオ・プラス委員会）

オーストラリアのロータリー・クラブは、世界の貧困問題に取り組む活動団体「Global Poverty Project」と協力して署名運動を行い、世界ポリオ撲滅推進計画に必要な資金を提供するよう世界の指導者たちに訴えています。この署名運動にはオンラインで協力できます。10月 28日にオーストラリアのパースでポリオ撲滅コンサートを予定しています。同日には英連邦首脳会議も開かれるため、ロータリアンは、ポリオ撲滅をこの会議の議題とするよう働きかけを行っています。また Global Poverty Project の共同創設者で CEO のヒュー・エバンスさんは、2012年 5月にバンコクで開かれる RI 国際大会にて講演を行う予定です。「世界的な取り組みを通じて、ポリオの撲滅がもう少しで手に届くところまでできています」と話すのは、Global Poverty Project でポリオ撲滅活動を担当し、オーストラリアのクラウリー・ロータリー・クラブ会員のマイケル・シェルドリックさんです。「私たちはまさに歴史的な瞬間を迎えようとしています。撲滅が達成されれば、誰もがこの恐ろしい病にかかる心配をせずにすみます。私たちはこの活動を最後までやり遂げなければならないのです」